

JIS

船用小形プロペラ取付部 テーパ1:10

JIS F 4801:1999
(2006 確認)

平成11年3月24日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、運輸大臣が改正した日本工業規格である。これによって、JIS F 4801 : 1996は改正され、この規格に置き換えられる。

JIS F 4801には、次に示す附属書がある。

附属書1(規定) 識別記号

附属書2(参考) ISO 4566によらない船用小形プロペラ取付部

主 務 大 臣：運輸大臣 制定：昭和 29.3.26 改正：平成 11.3.24

官 報 公 示：平成 11.3.24

原案作成協力者：財団法人 日本船舶標準協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 船舶部会（部会長 小山 初見）

この規格についての意見又は質問は、運輸省海上技術安全局技術課（☎100-8989 東京都千代田区霞が関 2 丁目 1-3）又は工業技術院標準部標準業務課 産業基盤標準化推進室（☎100-8921 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

船用小形プロペラ取付部

F 4801 : 1999

テーパ1 : 10

Fixing parts of ships' small propellers, Taper 1 : 10

序文 この規格は、1992年に第2版として発行されたISO 4566, Small craft with inboard engine—Propeller shaft ends and bosses with 1 : 10 taperを元に、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、対応国際規格にない規定内容を追加している。また、この規格の**附属書1**は、この規格の本体による製品であることを明確にするための刻印の規定とし、**附属書2**は、従来の日本工業規格JIS F 4801 : 1996の内容を一部改正して参考としたものである。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所及び表中の斜体文字で示した箇所は、対応国際規格にはない事項である。

1. 適用範囲 この規格は、船内機関に装備される軸直径が20 mm～160 mmまでの範囲で、かつ、テーパ1 : 10のプロペラボス(ハブ)とプロペラ軸端の互換性のための寸法について規定する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

ISO 4566 : 1992, Small craft with inboard engine—Propeller shaft ends and bosses with 1 : 10 taper

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの規格は、その最新版を適用する。

JIS B 0614 円すい公差方式

ISO/R 773 Rectangular or square parallel keys and their corresponding keyways (Dimensions in millimeters)

3. 定義 この規格で用いる主な用語の定義は、次による。

- a) **呼び径(nominal diameter)** テーパ軸の大端部の直径。円筒軸の直径そのものであり、公差は含まない。
- b) **テーパ(taper)** 全プロペラ軸トルクをプロペラに伝達し、キーを装備し、取り外しできるように設計された軸端部への円すい形状。

4. 寸法 寸法は、**図1**及び**表1**に示すものとする。表で“参考寸法”と記されたものは、ガイダンスとしての呼び寸法である。

図1に示した形状で、**表1**に規定されていないものは、互換性に重要ではないので、製造業者の決定事項とする。

括弧のない呼び寸法は推奨する寸法であり、括弧内の呼び寸法のものとなるべく使用しない。また、括弧のないねじ径は同様に推奨する寸法であり、括弧内のものとなるべく使用しない。

5. 構造詳細 **図1**に示す詳細は、設計を制限するものではなく、また、寸法を規定するものでもない。構造の形式及び方法、又はキー、キー溝及びそれらの隅半径、ねじ溝及びねじ端、並びに他の任意の詳細(例えば、安全ピンの穴、中心点など)の機械加工は、組合せの形状及び独自の必要性を満足する個々の方法が採れるように、規定していない。

ねじ部の長さ l_2 は、ねじ部直径 d_2 に等しくする。プロペラナットが取り付けられるねじ部は、ねじ部長さ l_2 の80